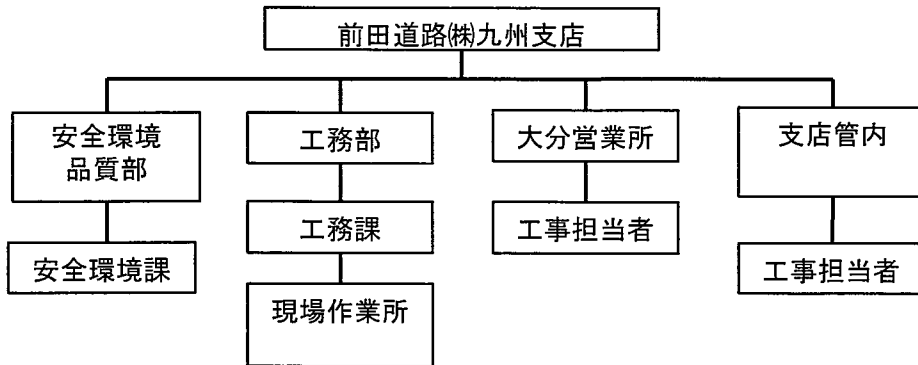


産業廃棄物処理計画書	
2021年 5月 20日	
大分市長	殿
提出者 住 所 大分県大分市大字中戸次字中津留上4822 氏 名 前田道路株式会社九州支店 大分営業所 所長 神崎 洋 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 097-597-2370	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	前田道路株式会社九州支店 大分営業所
事業場の所在地	大分県大分市大字中戸次字中津留上4822
計画期間	2021年4月1日-2022年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	06 総合工事業
②事業の規模	1,129,400千円
③従業員数	9名
④産業廃棄物の一連の処理工程	・がれき類(アスファルト塊、コンクリート塊) 自社等の再生処理施設にて再生骨材及び再生砕石等として再資源化 ・建設汚泥 再生処理業者へ委託し、脱水・固化させ再資源化 ・廃プラスチック類 分別後、中間処理業者へ委託し、再資源化 ・混合廃棄物 処理業者に処理を委託し、選別後再資源化及び処分



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（令和 2年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	アスファルト塊	コンクリート塊	建設汚泥	廃プラスチック類	混合廃棄物
	排出量	2,869.51t	51.61t	0.54t	1t	54m ³
	(これまでに実施した取組) 廃棄物の発生抑制に繋がる施工方法を採用 アスファルト、コンクリート塊は自社中間処理工場へ持ち込み再資源化する					
②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	アスファルト塊	コンクリート塊	建設汚泥	廃プラスチック類	混合廃棄物
	排出量	1,500t	35t	0.5t	0.5t	30m ³
	(今後実施する予定の取組) 施工計画段階時に作業所毎の産廃の排出計画書を作成し、厳密に審査し排出抑制に繋げる 材料等の梱包の簡素化を徹底し、発生の低減に努める					

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 分別している産業廃棄物:アスファルト塊、コンクリート塊他 マニフェスト表記分類毎に適切に分別、保管を行い委託業者へ処理を委託
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 上記を徹底継続し、リサイクル率のさらなる向上を図る

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項					
①現状	【前年度（令和 2年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	-	-	-	-
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	-t	-t	-t	-t
	(これまでに実施した取組)				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	-	-	-	-
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	-t	-t	-t	-t
	(今後実施する予定の取組)				
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項					
①現状	【前年度（令和 2年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	-	-	-	-
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	-t	-t	-t	-t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	-t	-t	-t	-t
(これまでに実施した取組)					
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	-	-	-	-
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	-t	-t	-t	-t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	-t	-t	-t	-t
(今後実施する予定の取組)					

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（令和 2年度）実績】				
	産業廃棄物の種類	-	-	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	-t	-t	-t	-t
	(これまでに実施した取組)				
②計画	【目標】				
	産業廃棄物の種類	-	-	-	-
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	-t	-t	-t	-t
	(今後実施する予定の取組)				

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（令和 2年度）実績】					
	産業廃棄物の種類	アスファルト塊	コンクリート塊	建設汚泥	廃プラスチック類	混合廃棄物
	全処理委託量	2,869.51t	51.61t	0.54t	1t	54m ³
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	0.54t	1t	54m ³
	再生利用者への処理委託量	2,869.51t	51.61t	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t	t
	(これまでに実施した取組)					
	・がれき類(アスファルト塊、コンクリート塊) 自社等の再生処理施設にて再生骨材及び再生砕石等として再資源化 ・建設汚泥等他の産業廃棄物 再生処理業者へ委託し、再資源化を図る					

②計画	【目標】					
	産業廃棄物の種類	アスファルト塊	コンクリート塊	建設汚泥	廃プラスチック類	混合廃棄物
	全処理委託量	1,500t	35t	0.5t	0.5t	30m ³
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t	0.5t	0.5t	30m ³
	再生利用者への 処理委託量	1,500t	35t	t	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t	t	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t	t	t	t
	<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>可能な限り自社合材工場にて再生利用を行うとともに、優良認定業者への処理委託、再生利用の推進を行う</p>					
※事務処理欄						

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 8 ※欄は記入しないこと。